

# 平成 28 年度 介護型ケアハウス サンライフ魚崎

## 事業計画（案）

職員の資質向上と自主性を持って行動できるように、やりがいと責任感を持って取り組んでいけるよう、フロア、委員会ごとの取り組みを重視し評価していく。

2 年目以降の職員に対して、スピーチロックや不適切なケアを未然に防ぐことができるように、定期的に勉強会を行い、知識・技術を高めていく。

### 1. 職員の育成・コミュニケーション能力の向上

1 年目の職員に対する研修やフォローの仕組みは構築されてきたが、2 年目以降の職員への指導が十分に行えていない。定期的な研修の場を設け、職員全体のコミュニケーション能力向上のため、ロールプレイングや勉強会を行っていく。

- (1) コミュニケーション能力を向上させるために、接遇委員を中心に、声掛けの方法、声のトーンや表情の重要性等の研修していく。また、接遇向上、高齢者虐待防止にはコミュニケーション能力も大きく関わってくるため、施設全体で接遇のマニュアルを作成する。
- (2) 2・3 年目の職員に対しては月 1 回勉強会を開催し、知識の習得だけでなくロールプレイや振り返りを行っていく。また、他部署とも協力しながら2 ヶ月～3 ヶ月に 1 回、新入職員及び 2～3 年目の職員に対し接遇や介護知識に関する全部署共通の試験を行う。
- (3) 研修委員を中心に、座学だけでなく、実技を取り入れた研修を行い、介護される側の体験も取り入れていくことで介護の質を高めていけるように取り組む。
- (4) スピーチロック、不適切なケアを防ぐことができるよう、接遇委員を中心に勉強会や指導を行っていく。
- (5) 昨年度同様に新入職員に対してグループ育成を行い、先輩職員が責任感を持って指導に当たり、グループリーダーが全体をフォローしていく。
- (6) 正職員は年 2 回外部研修に参加できるように調整する。

### 2. 入居者様確保・空き日数の低減

近隣にケアハウスや有料老人ホームが増え、利用者様確保が困難になってきている。また、入居者様の高齢化・重度化に伴い退所者も増えている。定期的に居宅介護支援事業所や病院、老健等に空き状況を発信し、入居希望者の紹介を依頼する。

- (1) 年間活動計画に基づき、案内の送付、事業所訪問を定期的に行い、入居者様の紹介を依頼する。また、ケアハウスの活動案内（生活の様子）を作成し、日ごとの様子や行事等ケアハウスの魅力を発信していく。（6 月末までに作成）

- (2) 骨折による入院を防ぐことができるよう、楽しみながらできる機能訓練を事故防止委員が中心となり考えていく。(6月末までに)また、危険予測がしっかり行えるよう研修を行っていく。
- (3) 入院時は、ケアハウスでの生活リハビリの重要性、認知症進行防止等、心身機能の維持向上のため、早期の退院のメリットを発信していく。
- (4) 入居希望のタイミング調整が難しいため、ショートステイと連携しながら待機者を確保していく。

### 3. 活力ある職場作り

活力ある職場作りのためには、職員一人一人がやりがいと責任感を持って取り組める環境と認められる環境作りが必要である。フロア、委員会ごとに目標を設定し、取り組みと振り返りを共有し競争意識を高めていく。

- (1) 各委員会の年間目標を立てて、3ヶ月に1回相談員と目標達成に向けて話し合いを行い、委員会の活性化を図る。年度末には年間通して取り組んだ成果と反省をまとめ、発信する。
- (2) フロアごとに年間目標を設定し、ケアハウス全体で競争意識を持って取り組み、リーダー会議で成果、振り返りを行う。
- (3) 待遇強化のため、自己の振り返りと他者評価（見習いたい点ともう少しこうすればもっとよくなる、助言）を行うことで認められる環境と改善点を自己覚知できるように取り組む。
- (4) 職員の疲労、ストレス軽減のため3日～6日のリフレッシュ休暇を取り入れていく。また、5年目以上の職員は他部署での勤務を3日程度行い、日頃の業務から離れ、ストレスの軽減を図りながら新たな知識の習得を目指す。
- (5) メンタルヘルスの講師に相談・助言をもらいながら職員のストレス軽減を図れるよう取り組んでいく。

### 4. その他

- (1) 昨年度は疥癬が発生した。疥癬・インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症に対する危機意識とマニュアル遵守の徹底ができるよう、11月・12月の内部研修を強化し、実技を取り入れた研修を行っていく。
- (2) 他部署研修を通じて現状の介護に満足することなく、自身の介護レベルを確認し、改善・向上していけるよう他部署との連携を強化する。(6月・9月・12月)
- (3) 職員の腰痛予防のため、介護ロボット（補助金制度利用）や歩行器、リフト等の福祉用具の導入を積極的に進めていく。
- (4) 有給休暇取得率向上のため有給休暇の取得が少ない職員対しては有給休暇の取得を促し、有給休暇取得率を上げるように努める。また、できるだけ連続した

休暇が取得できるように調整を行う。

## 5. 年間活動計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ケアハウス 重点目標	接遇強化	接遇強化	労災防止 (腰痛予防)	労災防止 (腰痛予防)	労災防止 (熱中症予防)	事故防止
研修・会議	相談員会 義・リーダ ー会議	新入職員育 成会議	介護職員他 部署研修・ リーダ ー会議	相談員会義	新入職員育 成会議・リー ダ ー会議	介護職員 他部署研修
利用者確保	案内状送付	活動案内 作成	活動案内 作成	案内状配布 (事業所持参)	案内状配布 (事業所持参)	待機者情報 更新
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ケアハウス 重点目標	接遇強化	感染症予 防対策	感染症予 防対策	労災防止 (腰痛予防)	事故防止	接遇強化
研修・会議	相談員会 義・リーダ ー会議	新入職員育 成会議	介護職員他 部署研修・ リーダ ー会議	相談員会義	新入職員育 成会議・リー ダ ー会議	新入職員 研修
利用者確保	案内状送付	案内状配布 (事業所持参)	案内状配布 (事業所持参)	案内状配布 (事業所持参)	案内状配布 (事業所持参)	待機者情 報更新

## 6. 年間稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成27年度 (実績)	95.8	98.0	97.5	98.0	97.6	99.2	95.0	95.8	95.4	96.0		
平成28年度 (目標)	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	99.5	98.5	98.5	97.0	97.0	97.0	98.5

## 7. 収入目標

単位千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計
H27年度実績	18,585	19,611	19,022	19,527	19,378	19,122	115,245
H28年度目標	18,900	19,840	19,200	19,840	19,840	19,200	116,820
前年度差	315	229	178	313	462	78	1,575
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
H27年度実績	19,051	18,538	19,087	18,883			
H28年度目標	19,840	18,900	19,840	19,840	17,920	19,840	233,000
前年度差	789	362	753	957			